



地域日本語教育コーディネーター研修

(一般社団法人 多文化社会専門職機構)

2022年1月24日（月）

令和3年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業

「日本語教室開設に向けた研究協議会」—空白地域における課題を議論する—
～地域における日本語教育人材の育成に向けた情報提供～

菊池 哲佳 KIKUCHI Akiyoshi / akiyoschi@gmail.com

多文化社会専門職機構 事務局長・認定多文化社会コーディネーター



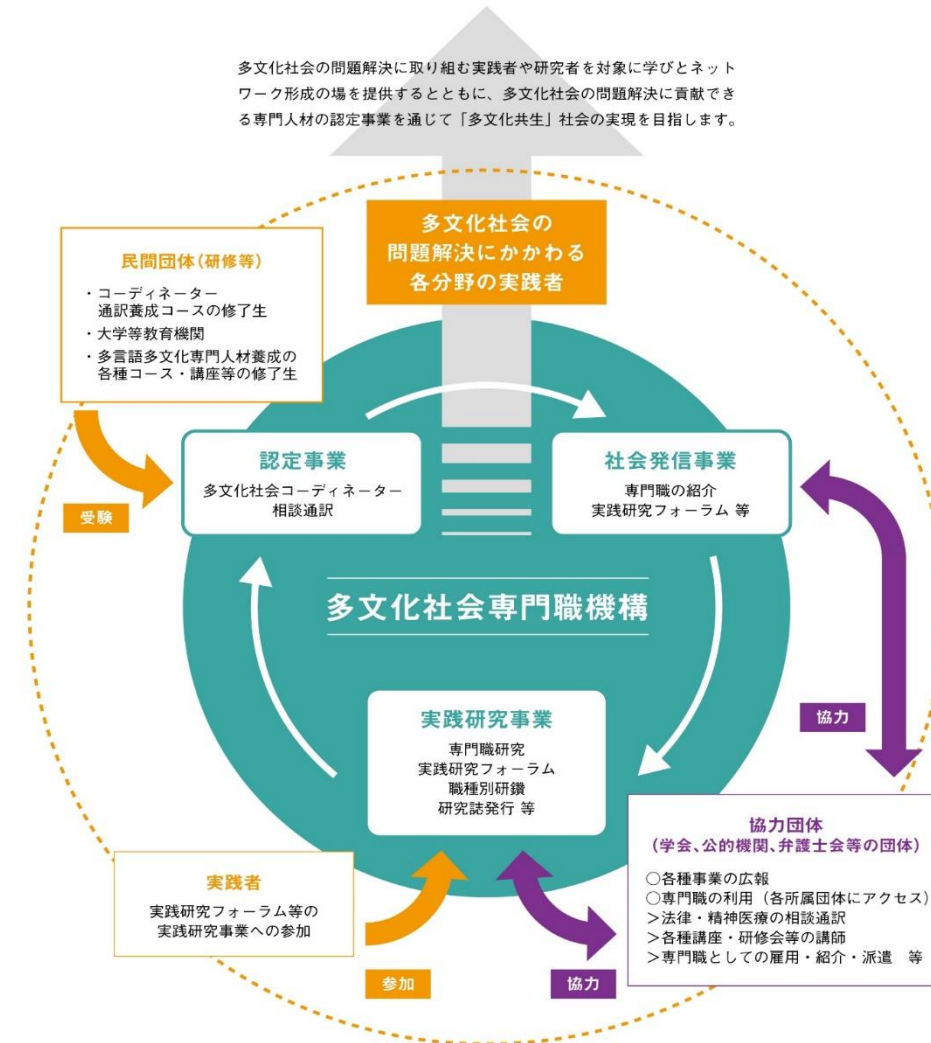
実施団体概要 (TaSSK)

名 称	一般社団法人 多文化社会専門職機構
略 称	TaSSK (<i>Tabunka Shakai Senmonshoku Kikou</i>)
英文名	The Institute for Multicultural Society Professionals
設 立	2017年2月26日 (2018年10月5日法人化)
会員数	39名 (2021年1月1日現在)
所在地	東京都千代田区神田神保町2-3神田古書センター6F内

実施団体概要 (TaSSK)

目 的

多文化社会の問題解決に取り組む実践者や研究者を対象に学びとネットワーク形成の場を提供するとともに、多文化社会の問題解決に貢献できる専門職の認定事業を通じて多文化共生社会の実現を目指す。



主な事業・プログラム群 (TaSSK)

1. 認定事業

「多文化社会コーディネーター認定プログラム」 「相談通訳者認定プログラム」

2. 実践研究事業

「多文化社会コーディネーター協働実践研修」 「地域日本語教育コーディネーター研修」 「多文化社会コーディネーター協働実践研究」

3. 社会発信事業

「多文化社会実践研究フォーラム」 「TaSSK/ WEBコラム」

4. その他事業

「対話の場づくりプログラム（「多文化カフェ」）」 「オンライン講座」



研修概要（地域日本語教育コーディネーター研修プログラム普及事業）

事業名 地域日本語教育コーディネーター研修プログラム普及事業

研修名 3コースを実施。

（１）地域日本語教育コーディネーター研修

（２）地域日本語教育コーディネーター講師育成研修

（３）地域日本語教育コーディネーターフォローアップ研修

実施方法 オンライン（令和3年度）

研修概要（地域日本語教育コーディネーター研修プログラム普及事業）

目 的

- （１）自治体施策・国際交流協会事業・市民活動等の現場で、地域日本語教育コーディネーターとして地域日本語教室を運営することができる人材を育成する。 → 地域日本語教育コーディネーター研修
- （２）文化庁「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」における総括コーディネーターを主な対象者として想定し、地域日本語教育の体制づくりを推進するとともに、地域日本語教育コーディネーターを育成するための力量形成を図る。 → 講師育成研修
- （３）研修用の動画教材を作成により研修実施のための資源を開発し、研修を持続的に実施できるようにする。 → オンデマンド動画配信



地域日本語教育コーディネーター研修

- 目 的** 自治体施策・国際交流協会事業・市民活動等の現場で、地域日本語教育コーディネーターとして地域日本語教室を運営することができる人材を育成する。
- 対 象** 自治体、国際交流協会、地域の日本語教室等で日本語教育プログラムの企画・運営に携わる中堅以上のスタッフ。
- 参 加 者** 東日本地域23名(北海道、岩手県、新潟県、福島県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、石川県、静岡県、山口県)
西日本地域15名(静岡県、愛知県、京都府、大阪府、島根県、岡山県、山口県、愛媛県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県) ※令和3年度実績



地域日本語教育コーディネーター研修

夏期研修Ⅰ【動画視聴】 2021年 8月18日(水)～ 8月31日(火)

夏期研修Ⅱ【演 習】 東日本 2021年 9月 1日(水)10:00-17:00
西日本 2021年 9月 3日(金)10:00-17:00

秋期研修 【演 習】 東日本 2021年11月18日(木)10:00-17:00
西日本 2021年11月19日(金)10:00-17:00

冬期研修 【演 習】 東日本 2022年 2月17日(木)10:00-17:00
西日本 2022年 2月18日(金)10:00-17:00

地域日本語教育コーディネーター研修

研修日程例（秋期研修 東日本地域）

10：00-10：20	20分間	オリエンテーション（本日の進め方について、など）
10：20-11：00	40分間	発表①（発表15分間、質疑応答20分間、講評5分間）
11：00-11：10	10分間	休憩
11：10-11：50	40分間	発表②（発表15分間、質疑応答20分間、講評5分間）
11：50-12：30	40分間	発表③（発表15分間、質疑応答20分間、講評5分間）
12：30-13：30	60分間	休憩
13：30-14：10	40分間	発表④（発表15分間、質疑応答20分間、講評5分間）
14：10-14：50	40分間	発表⑤（発表15分間、質疑応答20分間、講評5分間）
14：50-15：30	40分間	発表⑥（発表15分間、質疑応答20分間、講評5分間）
15：30-15：40	10分間	休憩
15：40-16：40	60分間	振り返り（ひとり各1分間＋講師から各5分間） 質疑応答（10分間）
16：40-17：00	10分間	事務連絡・終了



地域日本語教育コーディネーター講師育成研修

- 目 的** 文化庁「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」における総括コーディネーターを主な対象者として想定し、地域日本語教育の体制づくりを推進するとともに、地域日本語教育コーディネーターを育成するための力量形成を図る。
- 対 象** 自治体、国際交流協会、地域の日本語教室等で日本語教育プログラムの企画・運営に携わる中堅以上のスタッフで、コーディネートに関する研修等を受講した経験がある者。
- 参 加 者** 10名(神奈川県、静岡県、愛知県、兵庫県、和歌山県、山口県、福岡県)
※ 令和3年度実績



地域日本語教育コーディネーター講師育成研修

- 夏期研修Ⅰ【動画視聴】 2021年 8月 18日(水)～9月11日(土)
- 夏期研修Ⅱ【演 習】 2021年 9月 12日(日)10:00-17:00
- 実践モニタリング 2021年9月～2022年1月
協働研究者が実践現場に赴き、協働でモニタリング(現状分析、省察)を行う。
- 秋期研修 【演 習】 2021年11月 29日(月)10:00-17:00
- 冬期研修 【演 習】 2022年 2月 28日(月)10:00-17:00

地域日本語教育コーディネーター講師育成研修

研修での1コマ(秋期研修)

4. コーディネーターとしての力量をどう習得してきたか

	発表者の場合	イメージ	関わり方
上司	課長など (事務局長・専務)	・立場・役職が上の上司 ・雇用などの権限を有する人 ・職務分担や業務量を調整する人	・適した仕事とポジションを与えてくれる ・一定の範囲内での業務について完全に任せてくれる ・研修受講の機会を与える ・力を認めてくれる ・重要、困難なところに関わってくれる ・目的や目標を明示してくれる ・企画、予算確保、人事計画を立てて行動してくれる
先輩	先進地域の実践者 市職員	・経験が自分より長く、必要な知識・スキルの習得のための支援をする人	・(先進地域) アドバイスや事例・人を紹介してくれる ・(先進地域) 気づきや自己決定を促してくれる ・(職場内) 決断文書の校正・作成を教えてくれる ・(職場内) 行政とのやり取りについて教えてくれる
協働実践者	F課長 日本語コーディネーター 連携相手	・実践においては対等の関係性を保ちながら同じ目標に向かう同じ職場の仲間 ・事業を共に行う他機関等の連携先	・役割を分担して実践を行う ・ネットワークをもとに関係者に働きかける ・さまざまな視点から意見交換をする ・頼られる ・関係性を構築する
メンター	日本語コーディネーター 他都市の実践者	・信頼関係があり本音で話せる相手	・居心地のよい対話の場をもつ ・傾聴し話しやすくする ・不安や悩みを聞き、心理的負担を減らす ・気づきを与え、与えられる
講師	地域日本語教育コーディネーター研修 多文化社会コーディネーター養成講座 その他各種研修	・語彙やスーパービジョンなどを通して、コーディネーターに知識を与えたり、評価を行ったりする人	・知識を与える ・スキルアップにつながるスキルを伝授する



研修の特徴－参加者による協働的省察

TaSSKが描く地域日本語教育コーディネーター像

- 多文化共生社会形成に向けて、多様な人や組織との連携・協働を推進し、プログラム（活動）を構築・展開・推進する専門職。
 - 現場の状況変化に応じて関係する人びととリフレクティブに意思決定を行い、行為を決めていく専門職。
- そのような人材を育成するために、本研修は、参加者どうしが実践の省察（振り返り）をすることを研修の軸に位置付け、実施する。

研修の特徴－参加者のネットワーク構築

